



「脳卒中センターを作るために、八女に来ました」

脳卒中は、症状が出てからどれだけ早く病院に来るかが分かれ道です。少しでも「おかしい」と感じたら、迷わず救急車を呼んでください。私たちは24時間体制で、あなたの大切な生活を守る準備をしています。

PROFILE

森岡基浩 脳卒中センター長
専門分野：脳神経外科
認定資格：医学博士

日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医指導医
日本脳卒中外科学会技術指導医
日本小児神経外科学会認定医
日本脳神経外傷学会認定指導医

八女市・広川町 共同企画

24時間365日、地域住民を守る「脳卒中センター」

公立八女総合病院の脳神経外科に、国内屈指のエキスパートである森岡^{もとひろ}基浩先生が着任しました。八女地域の医療体制を大きく変える「脳卒中センター」の創設と、その熱い想いについてお話を伺いました。

圏住民課健康係 ☎ 0943-32-3502

日本を代表するエキスパートが語る、新たな地域医療の形

今年の4月、公立八女総合病院に久留米大学脳神経外科の主任教授を長年務めた森岡^{もとひろ}基浩先生が赴任し、新たな挑戦をスタートさせています。

森岡先生は、脳の血管が詰まったり破れたりする脳血管障害（脳梗塞や脳出血など）を専門とする、日本を代表する外科医です。これまで数多くのバイパス手術や高度な手術を手掛けてきました。

地域医療の格差をなくす

森岡先生が八女を選んだ理由は明確で、「私は、脳卒中センターを作るために八女に来ました」と語ります。

先生が調査したところ、高度な治療が必要な八女地域の患者さんの約3割が久留米市の病院へ運ばれていました。脳卒中は、時間との勝負です。「どこに住んでいるかで受けられる医療に格差があってはならない。八女で完結できる医療体制を整えることが、救える命を増やすことにつながります」と強く語ります。

脳卒中の脅威から地域住民を守るために

脳卒中は寝たきりの原因第1位であり、平穏な生活を一瞬で奪ってしまう恐ろしい病気です。公立八女総合病院では、この脅威から地域住民を守るための体制整備を急ピッチで進めています。

●最新設備と専門チームの充実

田中法瑞企業長の強いバックアップにより、当院では最新の血管造影装置を導入しています。これにより、お薬で血栓を溶かす治療だけでなく、カテーテルで血栓を取り除く「血栓回収術」という高度な治療も、八女の地で安定して行えるようになりました。さらに、神経内科など脳に関わる内科医との連携も強化し、総合的なセンターとしての機能を高めています。目指すのは、24時間365日いつでも高度な治療に対応できる体制です。

●自分の脳を守る「脳ドック」の重要性

脳卒中にならないためには、予防が何より大切です。特に、高血圧・糖尿病がある人や喫煙する人は、一度「脳ドック」を受けることを強く推奨しています。当院では、脳神経外科医が直接結果を説明し、将来のリスクを回避するためのアドバイスを行っています。脳ドックの質は、医師の質にかかっています。何が問題で、どう予防すべきかをしっかりと直接お伝えします。

★以下のQRコードから、病院の取り組みや森岡先生のインタビュー動画をご覧ください。



▲公立八女総合病院
脳ドック紹介ページ



前編



後編

▲森岡先生インタビュー動画



公立八女総合病院
〒834-0034 八女市高塚 540 番地 2
☎0943-23-4131

「人を育てる」ことへの信念

森岡先生のもう一つの大きな目標は、次世代の医師を育てることです。「一人の優れた外科医がいればいいわけはありません。その人がいなくなれば手術ができなくなる。それでは地域医療は守れない」と語ります。

先生は5年ほど前から、自身の技術を若手に継承することに全力を注いできました。現在も、若手医師の指導にあたりながら、チームとして安全で高度な手術を行える体制を構築しています。

謙虚な人間性と救いたいという想い

数えきれないほどの患者さんを救ってきたエキスパートでありながら、森岡先生の言葉は驚くほど謙虚です。「自分に救えなかった患者さんがいます。自分が完璧だと思っただことは一度もありません。これからも研さんを積んでいきたい」。その優しい眼差しの奥には、一人でも多くの地域住民の健康寿命を延ばしたいという情熱が宿っています。